議会運営委員会行政視察報告

視察日　7月3日～4日
視察市　茨城県取手市
視察項目　ICTを活用した議会運営の取組

令和5年7月4日、議会改革度調査ランキングで常に上位と評価されている茨城県取手市議会で、ICTを活用した議会運営と取組についてと題し、ICTを活用した主な取組の具体例、ICT導入に至るまでの経緯、タブレット端末の導入と活用方法等について研修した。

取手市は人口が10万5000人で能代市の約2倍、議員定数は24名(能代市20名)となっている。

現在能代市議会では、タブレット端末導入に向けた取組について特別委員会を設置し、導入の方法等について協議しており、先進事例として取手市議会から導入までの経緯や取組状況等を御教示、御助言いただいた。

研修は本会議場でプロジェクターとタブレットを使って行われ、議会事務局職員のほかに議会運営委員長や前議長も説明員として加わり、3時間もの研修となった。

取手市議会では「タブレット端末を活用した取組」として、①電子書籍ソフトウェア(SideBooks)を活用したペーパーレス化、②タブレットとソフトウェアによる、表決システムでの表決、③オンライン会議ソフトウェア(Zoom)を活用したオンライン会議、④LINEを活用した情報共有、情報交換等の説明がありました。

「タブレット端末の導入と導入費用」は令和2年8月に予備も入れて26台3年リースで導入(iPad Pro12・9インチ/セルラーモデル)したほか、事務局用4台を購入。タブレット導入コストの年間138万6000円は市の費用で導入も、常任委員会の行政視察費用の予算を凍結して捻出したもの。

「タブレット導入でペーパーレス化による業務の効率化」としては、タブレットのSideBooksの導入によりコピー用紙を半年で約9万枚削減、議会事務室のコピー用紙も年間1万5000枚削減、議案書印刷やとじ込み、議場や会議室への配付等の時間削減(年間約130時間)により、事務の効率化が図られたことが挙げられる。

「タブレットでのオンライン会議の活用と実績」としては、①委員会、会派代表者会議、災害対策会議、感染症対策会議なども集まらなくてもできる、②オンライン現地会議(災害時に実施)、③提出予定議案のオンライン事前説明、④オンラインでの市民との意見交換会実施。コロナ禍によるオンライン委員会の実績は60回以上、オンライン会議は150回を数えるとのこと。

市議会でのタブレット端末導入による効果は、ペーパーレス化による環境負荷の軽減や事務職員の事務量の負担減、情報の即時性と議員間の共有、委員会や本会議の効率化、市民への情報提供と参加の促進等があり、議会運営に効果があることが理解できた。

議会運営委員会では、今回の研修資料を議会改革調査特別委員会に参考資料として情報提供することとした。

(菅原隆文)

議長の主な動き　7月～9月

- 自治会連合協議会総会・講演会
- 全国市議会議長会空き家・空き地問題に関する特別委員会
- 日本海六県港湾都市議会協議会総会
- 秋田県北部市議会連絡協議会正副議長・事務局長会議
- 秋田県市議会議長会定例会
- 日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会夏期合同要望活動
- 秋田県市議会議長会実行運動
- 全国伝統工芸品振興市議会協議会理事会・定期総会・講演会・要望活動
- 能代山本広域市町村圏組合議会臨時会・全員協議会
- 天空の不夜城
- 能代役七夕出迎え
- 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 能代市成人式
- 能代市戦没者追悼式・平和祈念式典
- 特別国民体育大会「鹿児島国体」出場選手壮行会
- 特別全国障害者スポーツ大会「鹿児島大会」出場選手壮行会(代理含む)

議長の交際費を公開します
《7月～9月分》

- 道の駅ふたつい5周年祝賀会 …… 5,000円
- 秋田銀行能代支店長歓送迎会 …… 10,000円
- 日吉神社例祭　神幸祭宵祭　直会 …… 5,000円
- あわびの里づくり祭り …… 3,000円
- 能代宇宙イベント懇親会 …… 5,000円
- 能信会懇親会 …… 7,000円
- 秋田県市長会定例会懇談会 7,000円

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規定」に準じて支出しております。